

## 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月 日

協議会名: 大井町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
富士急湘南バス株式会社	1.相和循環(往路③⑥便) 大井町役場～赤田～大井町役場 運行日:月・火・金・土(ただし土曜日は午前のみ) 運行回数:2回/日 運賃:200円 (町内在住の小・中学生は無料、令和5年5月より町内在住の75歳以上は無料)	町広報へ特集号の掲載、公共交通マップの配布、おでかけモデルプランの掲示による「おおいゆめバス」の周知を実施し、ゆめバスの認知度の上昇を図ったため、利用者は昨年度より増加した。アフターコロナによる公共交通の利用促進を図るために運行事業者に町のイベントに参加いただいた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 一般利用者数6,000人(500人/月)、小中学生利用者数4,000人(333人/月) 収支率…8.7%の確保 【実績】 一般利用者数5,306人(442人/月)達成率88.4%、小中学生利用者数6,043人(503人/月)達成率151% 利用者数は小中学生のみ目標値を達成。一般は目標値より700人程度少なかった。利用者自体は一般・小中学生ともに昨年度より伸びているが、町内在住の小中学生に加え令和5年5月からは高齢者福祉施策として町内在住75歳以上の高齢者の運賃も無料対象としたことから、全体の収支率実績が4.5%と、目標値より4.2%の不足となった。	・利用者が少ない地域や時間帯を分析し、見直しを行う。 ・公共交通マップ・おでかけモデルプランを配布し、おおいゆめバスの周知及び利用促進を図る。 ・一般利用者がゆめバスを利用する習慣がつくように、広報でも利用のモデルを掲載し、利便性のアピールを行う。 ・アンケート調査等を行い町民ニーズの把握を行う。
	2.相和循環(復路⑤⑦便) (⑦便のみR5.4～R5.9) 大井町役場～赤田～大井町役場 運行日:月・火・金・土(ただし土曜日は午前のみ) 運行回数:2回/日 運賃:200円 (町内在住の小・中学生は無料、令和5年5月より町内在住の75歳以上は無料)				
	3.相和循環(復路⑦便) (R4.10～R5.3) 大井町役場～赤田～大井町役場 運行日:月・火・金・土(ただし土曜日は午前のみ) 運行回数:1回/日 運賃:200円 (町内在住の小・中学生は無料、令和5年5月より町内在住の75歳以上は無料)				
	4.西大井・金子循環(④便) 大井町役場～新宿～大井町役場 運行日:月・火・金・土(ただし土曜日は午前のみ) 運行回数:1回/日 運賃:200円 (町内在住の小・中学生は無料、令和5年5月より町内在住の75歳以上は無料)				
	5.登下校ルート(①⑧⑨便) 系統:いこいの村あしがら～篠窪～大井町役場 運行日:月・火・水・木・金 運行回数:3回/日 運賃:200円 (町内在住の小・中学生は無料、令和5年5月より町内在住の75歳以上は無料)	令和5年度新規事業			
	6.登下校ルート(②便) 系統:いこいの村あしがら～柳～大井町役場 運行日:月・火・水・木・金 運行回数:1回/日 運賃:200円 (町内在住の小・中学生は無料、令和5年5月より町内在住の75歳以上は無料)				